

[吉敷ふれあい標語 2020] 思いやり 感謝で育つ 吉敷の輪



CONTENTS

- 【インフォメーション】 2
- 【トピックス❶】
ゴミ出しマナーを守りましょう 3
- 【トピックス❷】
良城小1年生と良城クラブが
昔遊びで交流をしました 4

- 【吉敷さんば❶】
玄済寺と天神山公園 4
- 【よしき四方山ばなし❶】
西畠様 5
- 今月の吉敷人 5
- レポート 6

- 【よしきで輝く】
B-age 7
- イベントカレンダー 8
- かけはし 8

よしき人



YOSHIKI
DATA

【人口】 14,782 (前月比 ±0) 【世帯数】 6,364 (前月比 -11)

令和2年2月1日現在



良城小1年生と良城クラブが昔遊びで交流をしました

昨年12月13日（金）、良城小学校1年生の「昔の遊びを楽しもう」の授業に、良城クラブ（吉敷地区老人クラブ連合会）が講師として参加し、児童と交流を深めました。

昔遊びで世代間交流を

5種類の遊びで楽しい時間

毎年恒例となっているこの行事は、

良城クラブの会員がかつて遊んだ昔遊びを現代の子どもたちに教えることを通して、地域住民と子どもたちがふれあう絶好の機会となっています。

今回は、良城クラブから総勢40名が参加し、体育館や教室に移動して、「あやとり」や「お手玉」「けん玉」「こまわし」「紙飛行機」の5種類の遊びを指導しながら、子どもたちと一緒に過ごしました。



ふれあう絶好の機会



昔遊びの様子

児童と一緒に時を忘れ 子どもたちの成長を願って

各組に分かれた児童は、全ての遊びを順番に学びましたが、無邪気で可愛い仕草に良城クラブの会員の心も和ませられ、児童と心が一体となり、お互い夢中になって遊びました。

「終わりの会」では、藤井保行会長の挨拶の後、各組の代表の児童からそれぞれ感謝の言葉が述べられ、最後に児童一人ひとりとハイタッチを交わしました。後日贈られてきた5冊の感謝文には、「今の時期ですからインフルエンザに気を付けてください」、「いつまでもお元気で」となど労りの言葉が添えられており、忘れ得ぬ記憶となりました。

良城クラブとしても、こうした機会を今後も設け、子どもたちのより良い成長に寄与していきます。

などが安置されています。

隣接する天神山公園には、13代元瀬が領国の繁栄を祈願して建てた宣徳社が、篤信者により昭和62年に再建されています。また、元瀬が幕末の戦役で亡くなった人を祀った招魂社があり、四境の役で遊撃隊の総督として出陣後、当主となり、その後家督返上して平民となり、西南の役で戦死した14代親直（上野五郎姓）の墓が他の戦死者とともに祀られています。玄済寺や天神山公園では、吉敷の貴重な歴史や文化に幅広く触れることができます。

玄済寺の境内の山手に、吉敷毛利家歴代の一族の墓が整然と祀られ、墓所の入口には、秀包の正室の引地の君（マセンシャ）のエンジェル像があります。

本堂には、吉敷毛利家の御抱え妻谷派絵師による歴代当主の肖像画の掛け軸が収められています。初代の秀包の肖像画は山口市の指定文化財となっています。



吉敷毛利家墓所

昆沙門堂には、大内氏30代大内義興のお位牌と念持仏たる昆沙門天2体（いずれも鎌倉時代）、吉祥天（平安時代）、釈迦如来坐像（室町時代）



昆沙門堂



Vol.
7

玄済寺と天神山公園

玄済寺は、吉敷毛利家の始祖の毛利秀包が豊北町に創建した曹洞宗のお寺です。寛永2年（1625）に秀包の孫の元包の時、領地替えによって当地に移住され、以来吉敷毛利家の菩提寺として現在に至っています。

秀包は、毛利元就の11子、9男で、関ヶ原の戦いで豊臣方の将として戦い、敗戦後、下関で35歳の若さで病没しました。豊臣秀吉から「秀」の一字を賜り、秀吉による四国平定や九州平定、朝鮮の役で軍功を上げ、13万石の久留米城主となった武将です。

よしき 四方山 ばなし

Vol.
14

「西畠様」

天文二十年（一五五一）八月二十九日の夜、陶の謀反で法泉寺を脱出した大内義隆は、難没しつつ深川へと急ぎました。その後を追って、姫君の一行も先を急ぎながら四の宮から長門に向かおうとしました。

四の宮から左に入ると赤田の寺

領を通って吉敷烟に向かう道があります。ところが、そこを少し登ると道が二つに分かれています。困っていました。ちょうどそこへ付近の者が通りかかったので、長門へ行く道を訪ねると、その男は「そりやこつちの方がよからう」と足で教えていました。

姫君の一行は暗夜に光明を得たと思って、その道を足をつまずかせながら進みました。その道は、しばらく行くと険しい山道となり、とうてい人が通れる道では



西畠様の祠

なくなりました。

そして、どう考えても先程の者が、わざと反対の道を教えたらしいことに気付きました。そのうちに陶軍の追っ手が背後に迫る気配があるので、もとの道に戻つて進みかえました。しかしながら、既に陶の追っ手が待ち伏せており、ついに捕えられ、哀れにも惨殺されてしましました。

土地の者は、不親切な行いで姫君が哀れな最後を遂げたことを悔やみ、寺領堤の傍らの山裾に祠を

建て祀りました。

昔は、この付近の人たちによつて毎年「西畠様」というお祭りが行われていたようです。現在の祠は、義隆没後三百年に建立されたものであると伝えられています。

よしきびと 吉敷人

今月の



No. 095

たとうみゆき
多々良 美春さん

吉敷文化振興協議会 会員

千葉大学園芸学部在学中に庭園史に興味を持ち、古代から中世の発掘庭園の研究を行っています。吉敷には平成3年に転入されました。

平成12年から、山口県立大学で庭園学の非常勤講師を務めたことがきっかけで、平成18年より、山口県文化財保護審議会委員として活躍されています。山口市史の資料編では常栄寺庭園と善生寺庭園について執筆されました。史跡萩往還三田尻御茶屋及び名勝常德寺庭園、史跡、名勝常栄寺庭園の保存整備委員会委員も務め、古庭園の魅力を多くの人に知ってもらうことに努められています。また、「山口東北人会」の会員として、チャリティーコンサートの開催や東北の子どもたちに遊具などを贈る活動もされています。

吉敷では、文化振興協議会で、地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」の庭園に関する執筆などを行っています。また、凌雲寺跡の活用について検討しており、「地元中尾の皆さんとそのPRに努めたいです。」と言われています。（広報委員：松永寅）

仙台市出身、上東在住。地域交流センター定期利用団体「Ensemble hug」に所属。会員大募集中とのこと。

よしきびと 吉敷人

今月の



No. 093

くろしげ もよこ
黒瀬 昭子さん

曹洞宗 玄清寺 役員

地域のためになればと思い、良城商工振興会の前向きな活動に参加しています。その多くの会員の方と知り合いになることは大変心強く、玄清寺に訪れる方の様々な相談に役立てています。

山口市出身、佐畠在住。よしき軽井沢通り代表、趣味は津軽三味線。

よしきびと 吉敷人

今月の



No. 094

よしきひと
善岡 鈴々 ちゃん(1歳4ヶ月)

赤ちゃん

1歳になって、可愛いおしゃべりがたくさん聞けるようになりました。お兄ちゃんのことが大好きな鈴々ちゃん。「にいに」の次は、「父ちゃん」「母ちゃん」って早く聞かせてね！

大介さん、奈々さんの長女。佐畠在住。

レポート



本立てに挑戦！校庭は昆虫王国

1月18日(土)、良城小学校で、「木で、あつたまるく体験交流会」を開催しました。

森林組合の方を講師に、オリジナル本立ての製作に挑戦。トンカチでトントンしながら一生懸命作りました。

また、この日は昆虫観察も開催。やまぐち昆虫楽会の角田正明さんを講師に、校庭で真冬の昆虫観察を行いました。

小学校の校庭はまさに昆虫王国です。資料をもとにみんなで楽しみながら学びました。

最後は、良城おやじの会が焼き芋をふるまい、みんなでホフホフ食べて暖かくなりました。

みんなで「ネ」ネ味噌づくり

1月22日(水)、いじごの広場「楽楽楽」で、「親子で味噌つくり☆」を開催しました。麺と塩を混ぜ、茹でた大豆をしつかりとつぶし、麺と大豆をまんべんなく混ぜ合せ、味噌玉を作りました。完成は半年後になります。

昨年作った味噌を使って味噌汁も作りみんなで試食しましたよ。

よつこ吉敷へ！視察研修

1月28日(火)、香川県丸亀市の飯山南コミュニティセンターの方々が吉敷地区地域づくり協議会及び吉敷地区広報委員会に視察研修に来られました。

視察研修では、「ぶるさとだよりよしき」の編集方法や吉敷まちづくり計画、コミュニティスクールの取り組みなど幅広く情報交換を行いました。

誰もが安心して暮らしていくまちに

2月9日(日)、「吉敷地区社協講演会」を開催しました。

テーマは認知症。講師の鴻南地域包括支援センター認知症地域支援推進員の阿部由紀氏は、認知症予防の体操や寸劇を交えながら、症状や予防、その方への対応と併せて、日頃からの近所つきあいの大切さを話されました。

寒風のなか力走一区間新記録も！

1月19日(日)、阿知須さらら博記念公園で、「市民駅伝競走大会」が開催されました。

吉敷からは3チームが参加。総距離14.7kmを5人のタスキでつなぎ、全チームとも完走することができました。

女性陣の力走も素晴らしいものでした。男性陣は区間新記録に輝いたメンバーもいましたよ！

お母さんの手が気持ちいい♡

1月27日(月)、「ベビーマッサージ&カフェ」を開催しました。澤野祐希氏を講師に、お母さんたちちは、赤ちゃんが心地よくなるマッサージを学びました。赤ちゃんは、愛情あふれるお母さんの手のひらが一番気持ちよさそうでした。

講座の後はカフェも開催。母子保健推進員も交え、参加者全員で楽しく交流を図りました。

今年も福がいりばい☆

2月1日(土)、「節分 de ヨコ」を開催しました。

佐々木範子さんを講師に、クレヨンやクーピーで画用紙にみんなそれぞれの鬼を描き、可愛い鬼のお面や紙コップと折り紙で豆入れを作りました。

子どもたちは夢中になって作っていました。今年もたくさんの福が来るといいですね！

思いやりの心で住み良い吉敷を

2月8日(土)、「吉敷地区人権学習推進大会」を開催しました。

今年も良城小学校児童と鴻南中学校生徒から、人権啓発のためのポスターや標語、作文などの作品を出品していました。作文の発表では、良城小の代表児童が「5年3組発表を行いました。



人権学習への取り組み「いじめについて」と題して、クラスの人権学習の発表を行いました。

標語が、地域交流センター正面の懸垂幕に採用されました。



鴻南中学校生徒 優秀賞受賞者

〈作文の部〉

大村 一護 大澤 美弥花

〈標語の部〉

福田 光留 田中 慎一
茂浦口 葵 野村 優希

〈ポスターの部〉

田川 智花 森永 瑞菜 杉山 淑月
日下 葵 土谷 仁美 竹島 彩葉
吉川 奈那 石津 光菜

良城小学校児童 優秀賞受賞者

〈作文の部〉

田中 晴久 5年3組一同
渡邊 茗

〈標語の部〉

津波 結衣 山田 陽菜乃
内川 笑瑠 大玉 隼平

〈ポスターの部〉

柴田 朋花 吉武 直
山根 由芽 年藤 優花
田口 瑛堵 和田 明紗



よしきで輝く

輝く

B-age

地域交流センター登録団体等を紹介する「一ナード」「よしきで輝く」。

18年前、代表の岡村慎二郎さん

の子どもが部活でバドミントンを

始め、部活以外でも練習したいと

のことから、保護者と子どもを中心として設立されました。当初は

バドミントン同好会という名前で

したが、「年をとつてもバドミン

トンをやつていきたい」とのこと

から、「B-age」に名称を変更されたとのことです。

今では、その子どもたちも果

立つて、現在は、当時の保護

者やその職場の知人など口コミで

会員が増えています。八木宏寿さ

んも、職場での口コミで参加され

DATA 活動日 毎週火曜日 19時30分～21時30分

活動場所 鴻南中学校体育館

部員数 21名

未経験者でも気軽に楽しめました。江口将太さんは、岡村さんの子どもに誘われて参加しました。

未経験者でも皆さんが優しく教

えてくれるので大丈夫ですよ」と

のこと。経験者が優しく教えてく

れるのも魅力のひとつです。

「とにかくバドミントンをみん

なで楽しくやっています。アップ

したらすぐに試合をしています。

やつぱり試合が一番楽しいですか

らね！未経験者の方も大歓迎で

す」と岡村さんはラケットを持ち

ながら楽しそうに言されました。

そんな「B-age」で、バド

ミントンを優しい仲間と楽しく始

めてみてはいかがでしょうか。



いつまでも元気に



未経験者でも大歓迎

1日	
2月	・あいさつの日
3火	
4水	
5木	・楽楽樂「せったい役立つママの防災力UP講座」10:30~12:00 ・町内会長会 18:30~
6金	
7土	・鴻南中学校卒業式 9:30~ ・ロボットプログラミング de YY 10:00~11:30 P.2
8日	・多世代交流グラウンドゴルフ大会 9:00~
9月	
10火	
11水	・育児相談 13:30~14:30 (受付時間) P.2
12木	・広報委員会 16:00~
13金	
14土	・鴻南中学校区協育ネットふれあいコンサート 10:00~11:30 P.2 ・えがお食堂よしき 11:30~13:00 P.2 ・春のおはなし会スペシャル 12:00~13:00 P.2
15日	・吉敷ペタンク交流大会 8:30~
16月	・吉敷ペタンク同好会練習 9:00~ ・ブックスタート体験会 10:00~ P.2
17火	
18水	・吉敷幼稚園卒園式 10:00~ ・学校施設開放利用開催会議 19:00~ P.3 ・レノファ山口 VS 長崎 19:00~ (みちスタ)

19木	・ふれあい給食 ・良城小学校卒業式 9:30~ ・環境講習会 15:00~16:30 P.2
20祝	
21土	・楽楽樂「誰でもどうぞの日」9:30~12:00
22日	・レノファ山口 VS 水戸 19:00~ (みちスタ)
23月	・古敷ペタンク同好会練習 9:00~ ・楽楽樂「誰でもどうぞの日」10:00~15:00
24火	
25水	・おおとり保育園卒園式 10:00~
26木	
27金	
28土	
29日	
30月	
31火	

4月のおもなイベント

- 3金 おおとり保育園入園式
- 8水 鴻南中学校入学式
- 9木 良城小学校入学式
- 10金 吉敷幼稚園入園式
- 16木 ふれあい給食
- 19日 吉敷地区大運動会 9:00~15:00
- 25土 えがお食堂よしき 11:30~13:00

「隣は何をする人ぞ」

「秋深き隣は何をする人ぞ」。この句は、松尾芭蕉の生涯の俳句の頂点を示す一句とされています。

「何をする人ぞ」とは、どんな生業に携わっている人がの意なのですが、隣は自分のかいだの、それぞれ孤独でありながら、つながり合いたいという人を懐かしむ心、連帯の意識が詠みとれ、芭蕉が身近に思えてきます。

あの、阪神淡路大震災の日から、25年になります。この時、隣人の機会や救援、救護への関わりにより、命を救われた人が全体の80%に達したといわれます。また、私たちの住む地域社会で、少子高齢化、核家族化が進んでいます。

ここでは、高齢者、障がい者、家庭などで様々な理由により、日常生活上の困難に直面する人たちの存在があります。今後、深刻化していくことでしょう。住民どうしが助け合い、誰もが住み慣れた地域で暮らせるよう町づくりを目指して、昨年6月「上東手伝い隊」が発足しました。日々生じる様々なニーズに対応し、模索しつづけ、その精神を地域に醸成するための努力を継続し、一層の活動と発展が期待されます。

広報委員 桂田昌坦



[発行・編集]

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畠一丁目4番1号)
☎ 083-922-3915 吉敷地区交流センター(地域担当)
☎ 083-922-0668 吉敷地区交流センター(行政窓口担当)
☎ 083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

